

郡上の地域資源を生かし、地域の課題を解決する
新しいプロジェクトが始まっています！

Vol.105

水源の森を未来へ 企業と地域が育てる 石徹白の森づくり

白鳥町石徹白地区では、地域の森林資源を生かしながら、水環境を守る森づくりの取組みが進められています。



社員や家族とともに広葉樹の種を生分解性ポットに蒔く活動

半導体研磨材メーカーである株式会社フジミネンコーポレートッド（愛知県清須市）は、事業活動で使う水と自然環境との関係を見つめ直す「Water Offset（ウォーターオフセット）」を掲げた社会貢献活動を行っています。国内拠点では年間約170万トン（平均的な25mプール4500杯分に相当）の水を使用する同社が、「水源地の保水容量を高めることで、使用した水を自然に返す」という考えのもと、石徹白地区



種から育てた苗木を石徹白の山へ植える森づくり

で広葉樹の森づくりに取り組んでいます。年間を通じて、公的ボランティア（公共建物の雪囲い外しや井普請など）や稲作、雪遊びなども行い、社員や家族、地域住民との体験交流を重ねています。

活動は地域団体のNPO法人やすらぎの里いとしろを窓口として進められています。秋にはミズナラやコナラ、栗、オニグルミ、トチノキ、ブナなどの堅果類を森で採取し、水に浸して発芽しやすい種子を選別。翌春3月には、フジミの工場敷地内で社員や家族とともに生分解性ポットに種を蒔きます。苗は従業員の自宅や4か所の工場でもやりをしながら育てられ、約2年後に石徹白地区の皆伐跡地へ植樹されます。これまでに5000本以上を植え、今後5年間で約1万本の植樹を目指し



FUJIMI
社会貢献活動の動画
(water offset 活動)

ています。地域固有の遺伝子を守るため、苗木は購入せず、すべて石徹白の森で採取した種や稚樹から育てています。

これらの活動で使われている森は、企業研修の場としても活用されています。例えば、新入社員や海外拠点の社員が来訪し、源流の湧水から流域を含む川の生態系について体感しながら学んだり、植樹や苗づくりなども実施しています。

新年度4月からは、石徹白小学校で森づくり体験を授業として実施する準備も進んでいます。NPOには新たな人材も加わり、「企業×地域×専門家」による取組みがさらに広がる予定です。全国的な課題である山林の適正管理や継承にも向き合

いながら、石徹白の森と水を未来へつないでいきます。活動の様子はYouTube動画でも発信していますので、ぜひご覧ください。

問 NPO法人

やすらぎの里いとしろ

090・4014・1164

（副理事長 大西琢也）

oaoi@toshiro.net



市民のみなさん・郡上を離れている人や学生とその保護者へ

市内企業の
魅力をご紹介します！

郡上で働こ！

VOL.9

伝えたい！ものづくりの魅力 ～小さなねじで社会を支える仕事～

いすゞ自動車をはじめとした自動車部品のねじを製造しています



渡邊香理さん(左下)と所属チームのメンバー

(株)知立精螺製作所

強みを教えてください！

何事にも前向きに挑戦し、最後まで真面目に取り組む姿勢がこの会社の強みです。知立精螺製作所では、自動車や産業用車両などに使われる特殊精密ねじを製造しています。小さなねじですが、エンジンなどの重要な部分に使われ、多くの人の仕事や生活を支える大切な役割を担っています。自分たちが製造したねじが社会の中で役に立っていると感じた時、大きなやりがいと達成感を感じることができそうです。

—メッセージをどうぞ—

求職中、周りから「最後までコツコツ作業を続けることが得意だ」と言われたことがきっかけで、知立精螺製作所に入社しました。郡上で働くということは、これまで地域の人たちへの感謝を伝えられることにもつながると思います。皆さんも、ねじのような社会にとってなくてはならない存在になれるよう、一緒に頑張っていきたいと思います。(若手社員の渡邊香理さん)

《お問合わせ》
郡上市雇用対策協議会
☎67-1808

郡上市雇用対策協議会
Instagram で情報をキャッチ➡



株式会社知立精螺製作所
ホームページはこちら➡

